

[平成27年度総括評価表]

(学校名：徳島県立辻高等学校)

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策	
重点目標	課題	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見		
<p>進路指導の充実とキャリア教育の推進</p> <p>1 生徒に卒業後の目標を持たせる。</p> <p>2 生徒の基礎学力を定着させるとともに、さらなる学力の向上を目指す。</p> <p>3 進路を開拓するとともに、キャリア教育を推進する。</p>	<p>1) 望ましい生活習慣と学習習慣の確立</p> <p>2) 基礎的・基本的な知識・技能の確実な育成</p> <p>3) 一人一人の状況把握ときめ細かな支援</p> <p>4) 体系的な進路指導の推進</p> <p>5) 文武両道の奨励</p> <p>6) 学校図書館を活用した読書活動の推進</p>	<p>評価指標</p> <p>1) ① 毎日の遅刻者の割合 前年度比 5%減</p>	<p>評価指標の達成度</p> <p>① 年間の遅刻が4回の生徒は平成26年度は10名であったが、平成27年度は8名となっており、目標を達成することができた。5回以上の生徒はいなかった。</p>	<p>総合評価 (評定)</p> <p>B</p> <p>(所見)</p> <p>マナトレやラレボなどの取り組みについては肯定的意見が76%となっており、生徒が基礎学力定着の必要性を自覚していることが伺える。導入3年目となる「能率手帳」については肯定的な意見が保護者では67%となっており、本校の取り組みを保護者に知ってもらおう努力が少しずつではあるが成果を上げてきていることがわかる。検定受験回数は、昨年度より少し低く2.2回となっているが、受検意欲は高く、クラスによるばらつきはあるが、平均合格率は64%と昨年とほぼ同じく、高くなっている。個別の検定についてみると、英語検定や商業系検定の合格率は上昇傾向にある。学習時間の確保の大切さなど合格をするためには何が必要かを繰り返し指導していく必要がある。理科や公民、福祉などの調べ学習で、図書館はよく利用されている。「朝読」はできているが、家庭での読書習慣が定着していない生徒が多い。スマートフォンやゲームに費やす時間を、少しでも読</p>	<p>○ 挨拶ができ、基本的な生活習慣が確立している生徒が多い。</p> <p>○ 辻高校入学に対して生徒は82%、保護者は92%が肯定的であり学校との関係が良好であることがわかる。授業参観でも机間巡視や生徒への問いかけが適切に行われている。</p> <p>○ 授業参観をして、生徒の授業態度も良好で、熱心にきめ細かな指導を行っておりチームティーチングなどで「わかる授業」を展開してくれていた。</p> <p>○ 今年度、新たにスタートした総合学科1年生では、ライフプランを真剣に考え、しっかりと自分の意見を発表できていた。</p> <p>○ 能率手帳の活用については生活習慣と学習習慣の確立に役立つので、引き続ききめ細やかな指導をしてほしい、また、学習時間を増やせるようにも努力してほしい。</p>	<p>1) 能率手帳の利用について、保護者への周知を図る。</p> <p>2) 生徒の「学び直し」を系統的・継続的に実施する。</p> <p>3) キャリア教育を充実させるとともに、面接の機会を活用し、生徒の学びに対する意欲や関心を高める。</p> <p>4) 教科横断的な指導をするために他教科の指導についても教員同士が知る必要がある</p> <p>5) 各種検討会においては活発に意見交換を行い、学習と部活動の両立について、教職員間で課題の共有を図る。</p> <p>6) 読書量はクラスにより差がある。月1冊以上の目標を達成できているクラスもあるが、1年間に1冊に達していないクラスもあるので、読書量が少ないクラスに、ブックトークを行うなどの取り組みが必要がある。</p>
		<p>② 生徒・保護者・教職員アンケート「能率手帳が生活・学習習慣の確立に役立っている。」60%以上</p>	<p>② 生徒68%、保護者67% 教職員83%</p>			
		<p>③ 生徒・教職員アンケート「チャームと同時に授業を始めた」80%以上</p>	<p>③ 生徒87%、教職員92%</p>			
		<p>④ 家庭学習時間 平均2時間以上</p>	<p>④ 平均1.5時間で目標を達成できなかった。</p>			
		<p>2) ① 生徒アンケート「授業内容は分かりやすく工夫されている」80%以上</p>	<p>① 生徒79%</p>			
		<p>②-1 生徒アンケート「確認テスト・小テストが役にたった。」80%以上</p>	<p>①-1 生徒83%</p>			
		<p>②-2 生徒アンケート「個別指導が役にたった。」80%以上</p>	<p>②-2 生徒80%</p>			
		<p>③ 生徒アンケート「マナトレやラレボが役に立った」60%以上</p>	<p>③ 生徒77%</p>			
		<p>3) ① 担任アンケート「個人面談を各学期1回以上実施した」80%以上</p>	<p>① 担任100%</p>			
		<p>②-1 担任アンケート「三者面談を年1回以上実施した。」80%以上</p>	<p>②-1 担任100%</p>			
<p>②-2 生徒・保護者アンケート「進路に関する情報の提供が適切に行われている。」80%以上</p>	<p>②-2 生徒89% 保護者83%</p>					
<p>4) ①-1 生徒・保護者アンケート「学校は進学・就職の指導に力を入れている。」80%以上</p>	<p>①-1 生徒91% 保護者87%</p>					
<p>①-2 生徒・保護者アンケート「総合的な学習や進路ガイダンスが進路選択に役に立った。」80%以上</p>	<p>①-2 生徒81.3% 保護者83.3%</p>					
<p>② 教職員アンケート「検討会等を実施し、3年間を通じた系統的な進路指導を行っている。」80%以上</p>	<p>② 教職員100%</p>					
<p>③ 一人あたりの検定受験回数3回以上</p>	<p>② 一人あたりの検定受験回数2.19回 合格率 H25 → H26 → H27 漢検 44.4% → 漢検・日本語検定 58.9% → 50.4% 数検 16.7% → 34.4% → 13% 英検 48.2% → 39.3% → 54.5% 商業 58.9% → 59.7% → 51.3%</p>					

<p>5) ①教職員アンケート「部活動・クラス担任・教科担任間で連携ができています。」 80%以上 ②学年集会の実施回数 学期に1回以上。 全校集会の実施回数 月1回以上。</p>	<p>家庭 97.0% → 98.9% → 96.8% ① 教職員 100% ② 目標を100%達成</p>	<p>書に使うような取り組みが必要である。</p>
<p>6) ①図書館主催のイベント開催回数 各学期1回以上 ②毎月読書冊数 1冊以上(漫画・雑誌を除く)</p>	<p>① 1学期に1回 ② 月0.7冊</p>	
<p>活動計画</p>		<p>活動計画の実施状況</p>
<p>1) ①遅刻の防止や挨拶の励行や服装・頭髪など身だしなみについて指導を行い、基本的な生活習慣の確立を図る。 ②能率手帳を導入し、生活習慣と学習習慣の確率に役立てる。 ③始業のチャイムと同時に授業を開始する学校の雰囲気作りを行う。 ④能率手帳を活用し家庭学習時間調査を実施し、家庭学習時間の確保を図る。</p>	<p>①全校集会や学年集会などで繰り返し指導 ②能率手帳活用のイントロダクションをHR活動で実施。優秀な作品については各学期ごとに表彰 ③全校集会で指導 ④能率手帳を活用し、毎月の家庭学習時間調査を実施。</p>	
<p>2) ①各教科で学習指導方法の工夫や改善について検討し分かる授業の実施に努める。 ②小テスト・確認テスト等を活用し、基礎基本の徹底を図るとともに、学習の遅れがちな生徒に対しては個別指導を行う。 ③マナトレやラレボを活用し、義務教育範囲の学び直しを行い、基礎学力向上を図る。</p>	<p>①各教科で進度や生徒理解のため情報交換実施。 ②必要に応じて個別指導を徹底。 ③学年団で連携を密にして計画的に実施できた。合格するまで再テストを行い効果的に学び直しができた。</p>	
<p>3) ①個人面談・三者面談を実施し、生徒が進路について主体的に考え行動する姿勢を育てる。 ②三者面談や進路保護者会を通じて、適切な進路情報や資料を提供し、個々の進路希望や適性に応じた進路指導に繋げる。</p>	<p>①個人面談は各学年とも必要に応じて実施 ②3年生保護者対象の進路説明会では、パワーポイントと資料を用いて進路情報の提供はできた。保護者の出席率は前年に比べて増加した。</p>	
<p>4) ①総合的な学習や進路ガイダンス、個人面談を活用し、発達段階に応じた進路指導を実施し、目標の設定や学習意欲の向上につなげる。 ②コース選択検討会、教科担任会、進路個別検討会を実施し、3年間を通じた系統的な進路指導を推進する。 ③各種資格の取得や漢字検定・英語検定など検定試験の受検を奨励し、合格率の上昇に努める。</p>	<p>①各学年とも発達段階に応じた進路ガイダンスを実施。 ②各種検討会は計画通り実施できた。1年生では科目選択、2年生では進路意識の高揚、3年生では進路決定という目標を計画通り実施。 ③検定受検回数は一人2.2回と目標に少し届かなかった。検定全体の合格率は64%で、合格率は昨年とほぼ同じである。</p>	
<p>5) ①部活動の顧問・クラス担任・教科担任が連携し、生徒の学習習慣や成績について教職員の共通理解を図る。 ②学年集会や全校集会を通して、学習と部活動にメリハリをつけて取り組める姿勢を育てる。</p>	<p>①情報交換会や学年会を実施。 ②学年集会や全校集会、能率手帳を利用して学習と部活動の両立ができるよう取り組んでいる。クラス担任、部活動顧問の双方が能率手帳のチェックをしている。</p>	
<p>6) ①調べ学習や読み聞かせを通して、図書館の積極的な活用を推進する。 ②「朝の読書」の実施や学級文庫を活用</p>	<p>①国語や理科、公民で調べ学習を実施。全校読書会の実施や毎月『図書館便り』を発行し、図書館活動を啓発した。 ②「朝の読書」は担任・副担任で昨年</p>	

		し、読書習慣を定着させ、読解力や理解力の向上を図る。	月・水・金の3日間、行っている。生徒の44%、保護者のおよそ40%が本をよく読むようになったと回答している。しかし、一人あたりの読書量は月1冊以上を目標にしているが、月0.7冊で目標には達していない。		
--	--	----------------------------	--	--	--

<p>人権教育の推進と学習環境の整備</p> <p>1 人権を尊重し、ともに支え合う仲間づくりを推進する。</p> <p>2 快適な学習環境を整備する。</p>	1) 人権教育の組織的な推進体制の充実	<p>評価指標</p> <p>1) ①教職員アンケート 「計画通り実施できた。」80%以上 ②人権新聞の発行回数5部以上</p>	<p>評価指標の達成度</p> <p>① 教職員 100% ② 人権新聞は人権委員と人権研究部が協力し、5部発行。</p>	<p>(評定)</p> <p>B</p> <p>(所見) 救急処置体制・新型コロナウイルス感染症対応マニュアルの共通理解、防災訓練、救命措置シミュレーション研修などの取組により、生徒・保護者ともに安心安全な学校環境作りへの肯定的意見が80%を超える評価になったと思われる。 「生徒・保護者の相談に学校は誠実に対応できている」について、肯定的意見が多いものの、生徒は、71.4%で目標より低い。生徒の悩みに共感的態度で、かつ適切に対応できるよう教職員間の連携と研修をさらに図っていく必要がある。 本校の人権教育については、計画に沿った概ね達成できているが、計画を変更することもある。</p>	<p>○ 教育相談や個別の問題についても保健室や関係先生方等で適切な指導を行っていただいている。</p> <p>○ 保健室利用の生徒に対しては、養護教諭・保健主事・正副担任を中心に指導を行っていただいている。</p> <p>○ 加湿器が全教室に置かれており、インフルエンザ感染者も非常に少ない。健康管理についての指導がよくできていることがよくわかる。</p>	<p>1) 人権新聞の家庭への持ち帰りを徹底する。</p> <p>2) PTA人権教育研修の保護者の参加については、日程設定や周知方法の改善を図る。</p> <p>3) インターネット等による人権侵害について、生徒の実態に応じた指導を行う。</p> <p>4) 教員一人ひとりが様々な場面で把握した生徒の悩み、困り感に対して、ケース会議や生徒情報交換学年会での支援方法の検討をさらに充実させ、複雑多様化している生徒の悩みに適切に対応していく必要がある。</p> <p>5) 救急処置体制と各種緊急時マニュアルが、実際の場面で活かせるようにシミュレーション研修を毎年継続し、救命処置の実践力向上を目指す必要がある。</p> <p>6) 老朽化した校舎を清潔に保つには生徒・教職員の清掃が欠かせない。教職員・生徒ともに真面目に取り組んでいることがわかる。耐震工事も終わり、教員・生徒一丸となって清潔な環境を守っていきたい。</p>
	2) 人権問題について正しい理解を求める啓発活動の実施	2) ①-1 保護者・生徒の参加者数(各4名以上) ①-2 教職員アンケート 「研修後に啓発ができた」80%以上 ②教職員アンケート 「保護者・地域の方々への参加呼びかけを行い、人権講演会後の啓発・ホームルーム活動への利用ができた。」80%以上	①-1 保護者6名、生徒4名の参加予定であったが、台風接近のため中止となった。 ①-2 教職員 100% ② 教職員 89%			
	3) 情報モラルの育成	3) ①-1 校内でのインターネット・携帯電話・スマートフォンによるトラブル相談件数 2件以下 ①-2 各学年での学習活動 年間1回以上 ②教職員のセキュリティーポリシー研修 3回以上	①-1 トラブルによる相談はなかった。 ①-2 人権学習HR活動や人権新聞で学習。 ② 3回実施した。			
	4) 生徒の悩みやいじめの早期発見と適切な対応	4) ①生徒・保護者アンケート「相談に学校は誠実に対応してくれている」80%以上 ②教職員アンケート「精神的支援が必要な生徒の対応を関係者と連携を取りながら行った」80%以上 ③アンケート調査の実施回数 年2回以上	① 生徒 71.4% 保護者 83.7% ② 教職員 100% ③ 2回実施。			
	5) 安全・安心な学校環境の提供と救急処置体制の確立	5) ①生徒・保護者アンケート「救急処置体制の確立などで、安心・安全な学校環境の整備が図られている。」80%以上 ②教職員アンケート「AEDを用いた救命処置ができる」100%	① 生徒 82.7% 保護者 85.7% ② 教職員 100%			
	6) 清潔で快適な学習環境の整備	6) ①生徒・教職員アンケート「真面目に清掃に取り組んでいる」80%以上 ②生徒・教職員アンケート「ゴミの分別はできている」80%以上	① 生徒 89% 教職員 94% ② 生徒 87% 教職員 94%			
	7) 災害等に対処できる教育の充実	7) ①校内巡視の実施回数 毎日2回以上 ②防災訓練の実施回数 年2回以上	① 2回以上実施している。 ② 2回実施した。			
		<p>活動計画</p> <p>1) ①「本校の人権教育」に沿ったホームルーム活動、啓発、研修を行う。 ②人権新聞を発行して、人権意識の高揚を図る。</p>	<p>活動計画の実施状況</p> <p>①ホームルーム活動、啓発、研修を計画通り実施。 ②人権新聞は人権委員会と人権研究部で協力して発行した。</p>			
		2) ①PTA人権教育研修を実施し啓発活動を図る。 ②人権講演会の実施により、生徒の人権意識の高揚を図り、保護者・地域の方々への啓発を行う。	①PTA人権教育研修を実施し、その後の蕨の葉祭展示や、人権新聞啓発を行った。 ②本年度は人権映画館鑑賞会に予定を変更し、実施した。実施後、生徒に感想文を書かせ、人権新聞でその感想を紹介するな			

		<p>の情報交換を図ることができた。」 80%以上</p> <p>活動計画</p> <p>1) ①各種学校行事に関する内容や配布物(保健だより, 図書館だより, 葛の葉だより等)をホームページに載せ保護者との連携を強化する。 ②学校開放日に授業を地域の人たちに公開する。 ③学校評議委員会を開催し, 授業公開や意見交換を行う。</p> <p>2) ①保護者との連絡を密にし, 保護者参加行事の出席率の向上をめざす。 ②PTA新聞「葛の葉便り」を通じて生徒の活動, 学校行事等の状況を知らせる。 ③魅力あるPTA行事を催し, 保護者の積極的参加を促す。</p> <p>3) ①教職員への研修を行い, HPのコンテンツの充実に努める。 ②ホームページに同窓会のページを作成する。</p> <p>4) ①清掃活動やスポーツイベントなどのボランティア活動を通して, 地域との連携を図る。 ②地元中学校・高等学校との情報交換を図り, 地域と連携した教育活動の推進に努める。</p>	<p>活動計画の実施状況</p> <p>①学校行事の内容については, トピックスに掲載した。また, トップページに特に知ってほしい行事や情報を掲載した。</p> <p>②学校祭は地域住民の方々が多数見学した。</p> <p>③学校評議員会を年間2回開催し, 貴重な意見を伺うことができた。</p> <p>①行事への参加の呼びかけなどを積極的に行った。 ②年2回の発行。</p> <p>③料理講習や, PTA人権研修などを計画したが, 出席者が少なかったり台風の接近で中止になった。</p> <p>①「部活動戦績速報」コンテンツを新設し, 教員がより迅速に部活動の戦績を掲載できるようにさらに改善した。 ③同窓会のコーナーを設置している。</p> <p>①辻高校周辺の清掃活動や福祉施設のイベントに参加し, 地域の人々と交流した。 ②地元の高校, 地域との連携を図ることができた。中学校との交流はあまり図れなかった。</p>	<p>交流の良い機会にもなっている。 ボランティア活動の参加率は, 今年度は天候に恵まれず, 低下している。しかし, 辻駅だけでなく辻高校周辺の国道沿いにも活動範囲を広げて, 今後も継続して実施していきたい。</p>	<p>に参加できている。更に, 地域と連携をし辻高校の活躍を広めてほしい。</p> <p>○ 学校行事や運動部・文化部での活動が盛んに行われていることを, 新聞や地域広報誌で知らせてほしい。</p>	<p>ジや葛の葉便り, 地域の広報誌などを通じて積極的に発信する。</p> <p>4) 三好市・東みよし町などの関係機関と連携し, 地域のイベントに積極的に参画する体制を整える。</p>
--	--	--	--	--	---	---

* 「評定」の基準 A: 十分達成できた B: 概ね達成できた C: 達成できなかった